

# かがやく南っ子!

令和3年5月27日発行 第6号  
 銚田市立旭南小学校

【教育方針】 自ら考え、行動できる児童の育成  
 ~よりよいみんなの学校づくりを目指して~

【組織目標】

- 1 自分の思いや考えをよりよく表現し課題を解決できる。 (目指す児童の姿)
- 2 思いやりを言葉や態度に表すことができる。 (目指す児童の姿)
- 3 教職員の資質・能力の向上を図り、信頼される学校をつくること。 (目指す教師の姿)

## 陸上練習



校内陸上記録会に向けての本格的な練習を実施しています。100m走 800m 80mH 走り幅跳び ボールスロー 児童はそれぞれの種目の練習嬉々として取り組んでいます。先生方から手、足、膝等の使い方に関するアドバイスを受けると「はい わかりました」と素直に呼応できる素直な児童です。

明日の校内陸上記録会において、練習した成果を出し切り、よい結果につなげてほしいと思います。また、陸上競技に親しみ、その楽しさを十分に味わってほしいです。児童には銚田市教育会より記録賞を贈呈される予定です。

## 全国学力学習状況調査

昨年度、コロナ禍において実施できなかった本調査ですが、今年度は5月27日に実施しました。小学校6年生、中学校3年生を対象に国語と算数(数学)で実施された本調査の目的は、全国一斉に児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し成果と課題を検証し学習指導の工夫改善を図ることです。茨城県全体の主な課題は、複数の資料を読み取り、自分の考えを根拠をもち記述することです。これまで、児童が自信をもって本調査に臨めるよう、基礎的基本的な学習内容の振り返りを目的として授業や家庭学習等で過去の調査問題に取り組んでまいりました。今後、調査結果を分析・検証し、成果と課題を明らかにしながら授業改善につなげてまいります。

## ICT機器を活用した授業

5月20日(木) ICT支援員さんを講師としてお迎えし、ICT機器を活用した教職員研修を実施しました。



現在、学校はGIGAスクール構想により一人一台ある端末を活用した授業をとおして児童にとってわかりやすい授業、児童の個別の学習状況に応じた学び(個別最適な学び)が求められています。講師から、情報端末のアプリの効果的な活用方法について紹介いただきました。指導いただいた内容を学習指導の工夫改善に生かし、児童にとってよりよい学びへ還元してまいります。

## 児童朝会

いじめ防止3ヶ条

5月25日(火) 児童朝会において各学年の代表児童はいじめ防止3ヶ条の発表をしました。また、「ひまわりプロジェクトの募金」についての報告がありました。ひまわりプロジェクトの募金額は「14,360円」でした。今後、ひまわりの種の購入に使用いたします。募金へのご協力ありがとうございました。

2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気にあいさつをします。</li> <li>○だれにでも ゆずりあいをします。</li> <li>○自分と友だちの心と体を守ります。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちと協力し、助け合います。</li> <li>○心があたたかくなる言葉を言います。</li> <li>○こまっている人がいたら 先生や大人に言います。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るい笑顔でみんなが楽しい気持ちになるようにします。</li> <li>○差別をしないで みんなに平等に接します。</li> <li>○相手の傷つくことを言わないで 相手の気持ちを考えます。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いつも笑顔で元気に行動します。</li> <li>○発言に責任をもちます。</li> <li>○一人一人にやさしくします。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉や行動に責任をもちます。</li> <li>○だれにでも 思いやり行動をします。</li> <li>○みんな平等に接し 良いところを見つけます。</li> </ul>

## 編集後記

本校では、現在、茨城県教育委員会の指定を受けて「教職員の働き方改革」に取り組んでおります。教職員の業務改善を図り、生み出された時間を教材研究、校内研修の時間に充填し教職員の資質能力の向上を図るものです。また、教職員には、専門職という一面から児童と向き合う際の「ゆとり、やわらかさ」、児童にとってよりよい授業となるように「創造性、アイデア」が必要不可欠となります。ゆとりや創造性を担保するためには、時間の確保が重要となります。

今年度、業務改善に向けて、茨城大学教授を講師として招聘した業務改善のための校内研修や、1つの事業や行事を複数の教職員で役割分担しながら業務遂行する「プロジェクト型学校運営」「各種行事の工夫改善」「学級通信のHPへの移行」「ペーパーレス会議」「会議時間の短縮」「定時退勤日の設置」等に取り組んでおります。また年に2回の茨城県教育委員会からの訪問を受け、指導助言をいただきながら更なる業務改善を推進いたします。今後、成果をあげ、質の高い教育活動に転嫁し児童に還元できるよう努めてまいります。保護者の皆様には引き続きご理解とご協力をお願いいたします。